

西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第386号 平成17年2月



『蘭にとまるヤマトシジミ』 坂本保己

目

	頁
1) 新年賀詞交歓会	総務部 … 2
2) 会員の声	高村 宏 … 5
3) 山川日本史を分析する	坂井成彦 … 6
4) 感染症だより	西多摩保健所 … 9
5) 専門医に学ぶ	松原弘明 … 10
6) 写真部写真展	写真部 … 13
7) 文芸随筆諸事百般	
短歌「冬の薔薇」	片山 進 … 16
短歌「正月の頃」	鹿野純 一 … 16
8) 第2回地域医療機能連携推進委員会報告	
	坂本保己 … 17
9) 地区だより	
青梅地区	片平潤一 … 17

次

	頁
10) 青梅市立総合病院外来診療分担表	広報部 … 18
公立福生病院外来診療担当医表	
公立阿伎留病院外来部門診療担当医表	
11) 伝言板	広報部 … 21
12) 各部だより	
学術部インフォメーション	学術部 … 23
13) 理事会報告	広報部 … 24
14) 会員通知・医師会の動き	事務局 … 26
15) 表紙のことば	坂本保己 … 28
16) お知らせ	事務局 … 28
17) あとがき	馬場眞澄 … 29

平成17年 「西多摩医師会新年賀詞交歓会」

1月22日(土)に例年通り青梅市福祉センターで西多摩医師会新年賀詞交歓会が開かれた。議員、市町村長、警察署長および消防署長、医療関係団体などの皆様26名をご来賓としてお迎えした。会員の出席は47名で忘年クリスマス会よりやや少なかった。

会は真鍋会長の挨拶で始まった。会長は混合診療問題や老人保健に関する介護予防事業「お達者21」などに触れられた。続いて、ご来賓の衆議院議員島田久氏、都議会議員野村有信氏、市町村長代表竹内俊夫氏にご挨拶をいただいた。それぞれの立場から行政と医師会との連携や医療費問題、介護予防事業などについての話をされた。小泉構造改革の問題にも言及があった。次いで司会者がご来賓全員の紹介をした後、西多摩保健所長早川和男氏のご発声による乾杯の後、歓談に移っ

た。その直後に衆議院議員の井上信治氏が駆けつけて下さり、ご挨拶をいただいた。社会保障を考える若手議員の会の事務局長をされている井上氏は混合診療に対して抑制的な立場で力強くご発言して下さいました。

しばし歓談の後に余興となった。今回は理事の神尾先生のご尽力で二つの余興を楽しむことができた。まずあきる野在住の村野直子さんと関裕子さんが和服姿でフルートとピアノの二重奏をして下さり、次いで五日市小和田はやし連の囃子と獅子舞、お亀やひよっとこのお面をつけた踊りで正月の雰囲気盛り上がった。その後は恒例の景品のくじ引き。

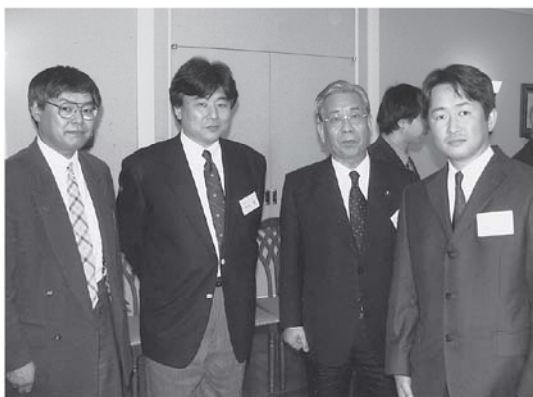
6時に開演してあっという間に2時間が過ぎ、監事の松原先生の本締め、ヒューマン・セキュリティなどに言及した玉木副会長の閉会挨拶で御開きとなった。

(文責：総務部福祉担当理事 中野和広)



〔写真撮影：宮下吉弘〕

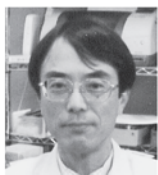






当院からご提供していること

高村内科クリニック 高村 宏



当院では以下の活動を企画したり支援したりしています。

- ① 管理栄養士を紹介しています。
 - ② CDEを紹介しています。
 - ③ 資料を作成し配布しています。
 - ④ 患者会を通して「さかえ」をお届けしています。
- まず①から順にご説明しましょう。

①管理栄養士のご紹介について

これはNPO法人西東京臨床糖尿病研究会が事業として行っているものです。平成元年、私が公立阿伎留病院に勤務しているときに病診連携の一環として、湯川先生、鈴木先生、大塚先生、西村先生に提案し、私が紹介した栄養士による栄養指導を先生方の医院で実施されたのが始まりです。それが現在はNPO法人に登録された管理栄養士を、開業医院へ紹介する形で継続されています。一昨年の集計では多摩地域の28開業医院で採用され2800件を超える指導が実施されました。西多摩医師会圏内でも12施設で採用されています。西村医院では約16年間このシステムで栄養士・管理栄養士が継続して採用され、栄養指導が継続されています。一昨年から成人病予防教室が先生と管理栄養士の共同で開催され、多数の参加者があるとお聞きしています。

NPO法人には現在34名の管理栄養士が派遣要員として登録され、その7割は糖尿病療養指導士の認定を受けており、研修のシステムもあり質の高い栄養指導を目指しています。

コーディネーターを私が務めています。

また同NPO法人では、医師向けのセミナー、コメディカルの研修と西東京糖尿病療養指導士の認定などの事業も行っています。案内を

ご希望の方は同法人事務局（042-322-7468）へお問い合わせください。

②CDE（糖尿病療養指導士）のご紹介について

当院に非常勤で勤務しています看護師が、地域の医療関係者を対象にレクチャーを行っています。この看護師は東京医大八王子医療センターで糖尿病療養指導の経験があり、日本糖尿病療養指導士の認定を受けています。すでに一昨年より福生市内の医師、コメディカル対象にインスリン注射指導法、SMBG（自己血糖測定）指導法のレクチャーを当院、福生クリニック、大聖病院で行った実績があります。福生市以外の施設に出向いてのレクチャーも行いました。調剤薬局薬剤師では、初めてインスリン注入器を扱ったという者も多く、良い経験になったようです。

主に土曜日午後を利用し、当院に来ていただく場合は無料、出張の場合は有料で講習を行いました。

③糖尿病関連資料の配布や情報の提示をしています

糖尿病食レシピ集、食事関連の資料集などは、調理実習の際、当院管理栄養士が作成したものです。近隣の印刷屋で多数印刷したものは有料で配布していますが、なかなか好評です。

外来では終日パワーポイントのファイルを、パソコンにタッチパネルモニターを接続し、連続提示しています。待ち時間の有効利用になります。昨年後半、福生市の馬詰先生が制作されたパワーポイントファイルを外来で繰り返し提示し、外来糖尿病患者さんの網膜症への理解が深まった印象があります。パワーポイントのファイルなら何でも使えますし、自前のパソコンでやるなら経費もかかり

ません。タッチパネルモニターは頑丈で叩いても壊れないのがメリットです。

④患者会を通して「さかえ」をお届けしています

糖尿病協会が発行する「さかえ」には糖尿病患者さんばかりでなく、医師、コメディカルも驚くほどの最新情報が満載で読み応えがあります。もともと患者さん向けの編集ですのでわかりやすく書かれてもいます。当院のもろこし会には、医療職会員として多数の先

生、コメディカルの方々にご加入頂いています。ご加入には会費（半年 3000円）が必要ですが、毎月「さかえ」を郵送しています。待合室の読み物としても最適です。

以上のことでご不明のことや詳細をお知りになりたいことがありましたら以下へご連絡ください。お待ちしております。

電話と fax : 042-530-2710

メール : takahiro@po.gws.ne.jp



山川日本史を分析する (2005年2月)

坂井医院 坂井 成彦

私に言わせれば、徳川幕府とは7+7+1=15の世界である。八代将軍吉宗は徳川幕府を紀州幕府にすりかえた人物だと考えてもいい。その最大の根拠は彼が「御三卿」を作り、それ以降の将軍を自分の子孫で独占しようとした点にある。最後に水戸藩により大どんでん返しをくらうことになるが、それまではほぼ吉宗の思惑通りに事は進む。

(日本史学習への疑問)

最近、日本史上の出来事を羅列することだけで日本史を終わらせるよりも、世界史や地理とのかかわりあいで日本史を考えてゆきたいと思うようになった。パブル（当時は財テクと呼ばれていた）の崩壊の一因は、日本人が世界史の中にある戦争・外交・貿易について余りにも無知であり、中近東・オーストラリア・カナダの資源について余りにも無知であったことにある。より多くの世界史・地理の知識が日本人の常識にならなければ、日本の経済はこのまま低迷を続けるだけだろう。

歴史に対する個人的解釈にも挑戦したい。たとえば、日野富子については

………応仁の乱の原因を作った人物。わが子義尚を将軍の座につけるため、関銭を取りたて、高利貸しや取崩も行った。その背景には、幕府の貴族化と商人化があり、中世の女性の経済的地位向上もあった。………日野家は藤原北家の嫡流だった。北家が天皇家の外戚で、日野家が足利家の外戚となっていたことは意外に知られていない。

1700年代前半の世界情勢。フランスでは、ルイ王朝が続いていたが第三身分（農・工・商）の不満が鬱積しつつあった、このとき書かれたのが「第三身分とは何か」（シエイエス）である。この著では第三身分が国民そのものであると銘記されている。ロシアでは、ピョートル大帝が絶対君主制をさらに強化させていた。清では康熙帝の息子雍正帝が儉約を旨とする経済政策を打ち出していた（この点将軍吉宗と似ている）。とくに注目されるのが、プロシヤの発生と進展である。

………今回は享保の改革をA（政治改革）とB（経済政策）の二つの分野にわけて、五冊の日本史教科書の脚注の部分と比較してみ

たい。

A（政治改革）…………結論から言えば、成功している。

1：六論衍義大意

((桐原)) 六論衍義は、明の太祖洪武帝が民衆を教化するために著した6か条の教訓書「六論」を、明の范鉉が解説したもの。その大意を室鳩巢がわかりやすく解説した。

2：足高の制

((桐原)) 幕府の各役職の役高を定め、家禄がその役高に達しない者に在職中だけ不足分を支給する制度。少ない財政負担で人材を登用することができた。

((三省堂)) 通常、幕臣は知行高におうじて役職につき、知行高に満たない役職についた者には不足分をくわえて退任後も支給していた。足高の制では、役職ごとに基準知行高を決め、知行高の少ない者が高官に就任すると在職期間中だけその不足分を支給するようにした。これによって、幕府財政の負担の軽減と、有能な人材の登用ができるようになった。
((実教)) 幕府の各役職の基準高(役高という。たとえば勘定奉行は3000石)に満たない家禄の者が就任した場合、在任中にかぎり不足分を補った。それまでは、退任後も不足分が家禄に組み込まれ、幕府財政を圧迫していた。なお、足高の制により登用された者に、神尾春央(勘定奉行)・田中大隅(支配勘定格)・大岡忠相(町奉行、のち寺社奉行)らがいる。
((東京)) 役職によって基準(役高)をさだめ、それ以下の禄高の者が就任した場合は、在職期間中のみ不足の石高を支給した。

((山川)) 脚注の部分で人材登用の方法として細字で説明している。

3：田中大隅

((三省堂)) 田中大隅は東海道川崎宿の名主で荻生徂徠に学び、農村の問題点を指摘した「民間省要」をあらわすとともに、農政について吉宗に建言し、代官にとり立てられた。
((山川)) 東海道川崎宿の名主で、徂徠に学び、「民間省要」という地方書を書いた。また吉宗に登用されて民政に貢献した。

4：公事方御定書

((桐原)) 上下2巻。下巻(刑法・訴訟法に

関する規定103条)を御定書百箇条ともいう。
((実教)) 寺社・町・勘定の三奉行が中心となって編纂した幕府の基本法典。上下2巻よりなり、上巻は司法・警察などを規定した81条の法令、下巻は103条の判例集である。下巻をとくに「御定書百箇条」といった。

((東京)) 公事方御定書の下巻が「御定書百箇条」で、以後の裁判の基準となった。

5：目安箱

((桐原)) 吉宗は大岡忠相を町奉行に起用し、救貧や防火対策などに取り組んだ。小石川薬園内に小石川養生所を設けて貧困者の施薬機関としたのも、目安箱への投書によるものである。

((実教)) 小石川養生所の設置は、目安箱への投書を取りあげたものである。なお、京都・大坂ではそれぞれの町奉行所の前に目安箱が設置された。

6：実学の奨励

((桐原)) このころ、蘭学者青木昆陽の努力によって甘藷の栽培が普及した。幕府はまた、薬用の朝鮮人参の移植や、甘蔗(砂糖きび)の栽培、蠟の原料となる蠟の栽培なども奨励した。

7：町火消し

((山川)) 江戸町方の町々を「いろは」47組に編成し、町人足役による組織的な消防制度をはじめたが、すぐに鳶人足による消防組織に変わった。

8：田安家・一橋家

((山川)) 9代将軍徳川家重の次男重良にはじまる清水家とあわせて、三卿と呼ばれる。

B（経済政策）…………結論から言えば、失敗している。

1：相対済し令

((桐原)) 貸借関係者だけの相談で解決できるようにしたもので、裁判事務を促進するねらいがあった。しかし、借金の踏み倒しが続出し、町人の強い反対でのちに撤回された。

((山川)) 相対済し令は、17世紀後半以降、数度出されている。1718年に江戸町奉行所がうけつけた訴訟は約3万6000件であり、このうち90%以上が金公事であった。

(8)

2：上げ米

((桐原)) 石高1万石につき100石の割で上納させ、かわりに大名の江戸在府の期間を半年に短縮した。1722～31年のあいだ実施された。

((三省堂)) 上米は毎年1万石について米100石で、1730年まで続いた。

((実教)) 諸大名に1万石あたり100石の米を上納させた。そのかわりに、参勤交代を在江戸半年・国元一年半とした。1722年から1730年まで実施された。

((山川)) 1722年～30年に実施。この間、参勤交代の在府期間は半減された。上げ米の総額は年18万7000石におよび、これは幕府の年貢収入の1割以上に相当した。

3：定免制：定免法

((桐原)) 定免法を継続するたびに、少しずつ増徴を強いた。このため、4公6民だった祖率が、ほぼ5公5民となった。

((三省堂)) 一定期間がすぎると収穫高を再調査して年貢を重くしていった。そのため、年貢率も四公六民をこえることが多く、幕府は凶作などの時には検見取法にもどすことも多かった。

4：年貢増徴と新田開発

((実教)) 検見取法から新たに定免法を採用したときや、数年間の固定年貢期間(定免年季)が終了したときに、年貢率をあげることが多かった。

((山川)) 幕府は江戸日本橋に新田開発についての高札を立て、有力商人の協力をうながし、また新田検地を進めた。しかし耕地の拡大はそれほど進まなかった。

5：質流れ地禁止令

((三省堂)) 1722～24年におこった越後頸城郡の越後質地騒動や、1723年におこった出羽村山郡長瀬村の長瀬質地騒動など、幕領でおこった。

6：米価引き上げ

((桐原)) 吉宗は「米将軍」ともいわれたほど米価の調節に苦心し、大坂堂島の米市場で相場をたてることを公認した。

ここで、脚注の行数を単純に加算して、その感想を述べてみる。

((桐原)) 計21行：「六論衍義大意」は不要だろう。むしろ、荻生徂徠(古文辞学)の「政談」を政策提言の書として重視するべきだろう。

((三省堂)) 計14行：足高の制の説明がくどい。((用語集))にまかせるべきだろう。質流れ地禁止令についてふれるのならば、翌年撤回され、質流れ地の田畑売買が黙認されたことを指摘するべきだろう。

((実教)) 計14行：やはり、足高の制の説明がくどい。

((東京)) 計4行：簡潔である。不明な点は((用語集))を併用すればよい。

((山川)) 計14行：足高の制が脚注にあり、しかも細字である。理解に苦しむ。

全体的に、各社の日本史教科書の脚注はバランスが悪い。奥歯に物が引っかかったようなことを細字でごちゃごちゃ記載するくらいなら、すべて空欄にして該当する((用語集))のページを書き込めるようにしておいた方が親切というものだ。そのくらい((用語集))はよくできている。たとえば、英語の勉強のさい、すぐに辞書を引かずに文脈から考えろという。しかし、高校の英語の教師はやはり辞書を指定しているのではないかというのが私の反論である。

私は(享保の経済政策)は失敗であると断言したが、享保の飢饉が無ければ農民一揆の多発までにはいたらなかったかもしれない。それにしても、農民の生活を圧迫しすぎた感はある。上米の制は一時的妥協策でありこれ以上の継続は江戸の求心力を失わせ外様大名の地方分権を強めるので危険であった。新田開発もすでに耕地面積の限界に達していたので、むしろ、その効率化に努めるしかなかった。最大の欠点は吉宗が商人の力をうまく利用できなかったことであろう。これが江戸生まれで江戸育ちの田沼意次の発想と根本的に異なる点である。1700年中期、京都・大坂・江戸の人口は約30万・40万・50万人である。その後の江戸の人口増加は一面町人文化の繁栄であり、反面、関東以北の農村の荒廃に伴う人口流入でもある。

感染症だより

<全数報告>

第52週（12.20～26）から平成17年第3週（1.17～23）のあいだに、四類感染症のつつが虫病1件の報告がありました（第1週）。

2004年中に西多摩保健所に報告があったものは、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症が5件、四類感染症のA型肝炎1件、五類感染症のアメーバ赤痢1件、後天性免疫不全症候群1件で、総数は8件です。

<定点からの報告>

	52週 12.20～26	53週 12.27～1.2	2004年 累計	1週 1.3～9	2週 1.10～16	3週 1.17～23	2005年 累計
RSウイルス感染症	0	0	5	0	0	0	0
インフルエンザ	16	3	1,323	5	22	94	121
咽頭結膜熱	0	0	112	1	0	4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	3	313	2	0	6	8
感染性胃腸炎	83	30	1,632	34	73	51	158
水痘	8	4	318	12	3	3	18
手足口病	5	0	94	0	0	0	0
伝染性紅斑	0	1	213	0	1	7	8
突発性発しん	1	1	149	2	2	2	6
百日咳	0	0	8	0	0	0	0
風しん	0	0	42	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	95	0	0	0	0
麻疹(成人以外)	0	0	12	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	32	10	239	18	20	11	49
不明発疹症	0	0	1	0	0	0	0
MCLS	0	0	0	0	0	0	0
合計	149	52	4,556	74	121	178	373

<コメント>

- ・インフルエンザが流行している。1月18日に青梅市の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖があった。同時期に他の地域でも学級閉鎖があった。A型、B型両方のタイプの報告があり、どちらも流行している様子。
- ・感染性胃腸炎も、第52週に定点あたり16.6件、第2週14.6件と流行している。
- ・伝染性紅斑の増加が見られており、注意が必要である。

<「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル」作成>

昨年末から広島県内の特別養護老人ホームでのノロウイルス感染症での死亡者の発生を始め、高齢者施設での感染性胃腸炎の集団発生が多発しています。都内でも東村山市で、おう吐物の誤飲による「誤嚥性肺炎」での死亡が報告されています。

東京都では、社会福祉施設等でのノロウイルス感染症・食中毒の発生を未然に防止するため、この度、施設における衛生管理対策の基本となる「社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル（第1版）」を作成しました。

福祉保健局ホームページに全文が掲載されていますので、ご活用ください。

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shokuhin/micro/noro_manual.html

感染症発生動向調査（サーベイランス）は、先生方のご報告があつて初めて機能します。先生方のご協力をお願い申し上げます。また、体制強化に努めていきたいと考えていますので、忌憚のないご意見をお寄せください。

（文責：西多摩保健所保健対策課感染症対策係）

専門医に学ぶ 第2回

問題

【症例】64歳 女性

【主訴】労作時呼吸困難、咳（乾性）

【現病歴】平成16年11月初めより咳（乾性）が出現した。11月中旬頃より徐々に労作時呼吸困難が出現（階段を2階まで昇ると息切れのため休む）。さらに11月下旬になると平地歩行でも呼吸困難を自覚するようになったため、近医（石畑診療所）を受診した。その際胸部単純X線にて両肺に多発性の浸潤陰影を認めたため、紹介により11月29日に当院を受診した。経過中発熱、関節痛、筋肉痛などは認めなかった。

【既往歴】14歳 肋膜炎、59歳 腎結石、59歳 肝血管腫

【生活歴】喫煙歴 1日2本を10年（平成16年3月31日より禁煙）、飲酒歴 なし、吸入歴 なし

【身体所見】眼瞼結膜に貧血なし、口腔内異常なし、頸静脈怒張なし、心音 純、肺野 両側下肺野に捻発音を聴取、腹部異常所見なし、下腿浮腫なし。

【検査所見】（末梢血）WBC 6400/ μ l（Baso 0.3, Eo 2.5, Neutro 71.4, Lym 20.8, Mono 5）, RBC 454X10⁴/ μ l, Hgb 13.5g/dl, Hct 41.6% . Plt 29.1 X10⁴/ μ l,（生化学）Glu 98mg/dl, TP 7.6g/dl, Alb 3.8g/dl, T-Bil 0.9mg/dl, GOT 26 IU/l, GPT 12 IU/l, LDH 215 IU/l, ALP 352 IU/l, r-GTP 11 IU/l, T-CHO 287mg/dl, CPK 41 IU/l, UA 6.0mg/dl, BUN 14mg/dl, Cr 0.8mg/dl, Na 143mEq/l, K 4.8mEq/l, Cl 105.6mEq/l, CRP 0.19mg/dl

（免疫）KL-6 1990U/ml（< 500）、リウマチ因子 12 IU/ml（< 15）、

抗核抗体 陰性、抗 Jo-1 抗体 陰性、P-ANCA 陰性、C-ANCA 陰性

（室内吸入気動脈血ガス分析）pH 7.49, PaO₂ 53 Torr, PaCO₂ 31 Torr, HCO₃⁻ 24.2mmol/l

（肺機能）VC 1680ml, % VC 75%, 一秒量 1440ml, 一秒率 94%

（気管支肺胞洗浄）総細胞数 10⁵/ml, マクロファージ 41%, リンパ球 50%, 好中球 1%, 好酸球 8%, CD4/8 0.6

（問題1）考えられる疾患は何か。

1. 細菌性肺炎
2. 特発性間質性肺炎
3. 特発性器質性肺炎
4. 敗血症性肺塞栓
5. 肺アスペルギルス症

（問題2）この疾患の治療法はどれか。

1. 抗生物質
2. 副腎皮質ホルモン
3. 抗凝固療法
4. 抗真菌剤投与



写真1 入院時胸部単純X線



写真2 入院時胸部C T



写真3 入院時胸部C T

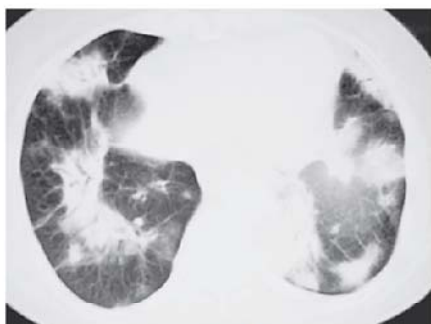


写真4 入院時胸部C T

解答と解説

公立福生病院 内科 松 原 弘 明



(解答) 問題 1 : 3、問題 2 : 2

(解説) 特発性器質化肺炎 (Cryptogenic organizing pneumonia (COP)) は 1985 年に提唱された概念で、以前は BOOP (bronchiolitis obliterans organizing pneumonia) と呼ばれていた。これは病理学的な概念で、閉塞性細気管支炎、器質化肺炎、胞隔炎を認め、明らかな繊維化がないことが特徴である。COP は単一の疾患ではなく、明らかな原因のないもの、膠原病、薬剤やウィルス感染などを基盤として発症するものも多い。初発症状は発熱や咳嗽などで徐々に呼吸困難が出現するという亜急性の経過をとることが多い。胸部 X 線上は多発性の浸潤陰影を呈し (写真 1)、しばしば陰影の遊走がみられる。胸部 CT ではスリガラス状陰影から高度の肺野濃度の上昇がみられ、これらは一般の肺炎とは異なり肺区域 (気管支の走行) と無関係に陰影が存在する (写真 2, 3, 4)。検査所見では白血球高値、炎症反応高値など肺炎と区別ができないことも多い。診断は CT などの画像診断と気管支鏡検査で多くの場合つくが、まれに胸腔鏡下肺生検が必要となることもある。気管支肺胞洗浄ではリンパ球の増加、CD4/8 の低値が特徴である。本症例では経気管支肺生検で器質化像を認め、気管支肺胞洗浄でリンパ球増加、ならびに画像診断、臨床経過より特発性器質化肺炎と診断した。治療は副腎皮質ホルモンが著効する。プレドニンで 40mg 程度を 2~4 週間使用し、徐々に漸減する。早期に減量すると再発をきたすことがあるため、約 1 年程度かけて減量することが望ましい。一方胸部 X 線上の陰影が存在あるいは遊走しているのみで自覚症状がない場合は経過観察でもかまわない。本症例ではプレドニン 40mg を 4 週間使用し、陰影の改善 (写真 5)、呼吸不全ならびに自覚症状の消失を認めた。



写真 5 ステロイド投与 4 週後

写真部写真展

第34回西多摩医師会写真部写真展が平成16年11月24日から11月30日まで、羽村市コミュニティーセンター2階ロビーにて盛大に開催されました。11月27日には、西多摩医師会市民健康講座も開催された為、例年より多くの来館者が見受けられました。

11月30日写真展終了後恒例の写真品評会が行われ、その時話題となった会員自慢の一点をここに紹介します。

写真に興味のある先生は、松原部長までご一報下さい。次回は写真展は、6月を予定しています。

(文責 細谷 純一郎)



京都勝持寺の秋

細谷純一郎

一昨年京都に行った時の写真です。幸か不幸か最近多忙のため撮影の時間がとれず、新作がありません。不本意ながら古い写真ですが、お気に入りの一点です。



白馬鑓 (シロウマヤリ)

石井好明

7年前、八方尾根から手持ちで撮った白馬鑓です。今迄の山の写真の中で、一番ポイントが合っていました。



秋の輝き 真鍋 勉

「神宮外苑」?ではありません。羽村市武蔵野公園の銀杏並木です。そして、間もなくこの歩道に黄金の絨毯がひきつめられます。



パフィオペディラム

森本 晋

中国南部から東南アジア、ネパールにかけて自生する蘭です。栽培は結構難しく、気を使います。一瞬の不注意で枯れてしまいます。今までの墓標のほとんどはパフィオです。この花は斑点が鮮やかにはいった種類で、株の勢いがよかったため大輪となりました。生き物相手ですからなかなか写真写りの良いものができないのですが、この花は形も色も良く、気に入りました。



ブーゲンビリア

田村啓彦

ホノルルで散歩中に目に止まったブーゲンビリアです。開放絞りで背景に同じ花群を入れ、全体を赤くしてみました。



蔵王「お釜」

稲垣壮太郎

天気にも恵まれ、10時頃だったので、ガスもなく鮮明にお釜が見えました。周囲の山塊が色とりどりで面白く、撮影しました。



これで どう? 松原貞一

ポートレートの題名には、いつも苦勞する。笑顔、微笑、スマイル等々使いふるし、考えあぐねた末、こんな題になってしまった。



月見気分でーハナカミキリー 坂本保己

50mmマクロレンズでの自然光接写です。焦点深度が浅いためバックの白い花がボケ、満月のように見えます。



京都勝持寺の秋 細谷 純一郎



シロウマヤリ
白馬山

石井 好明



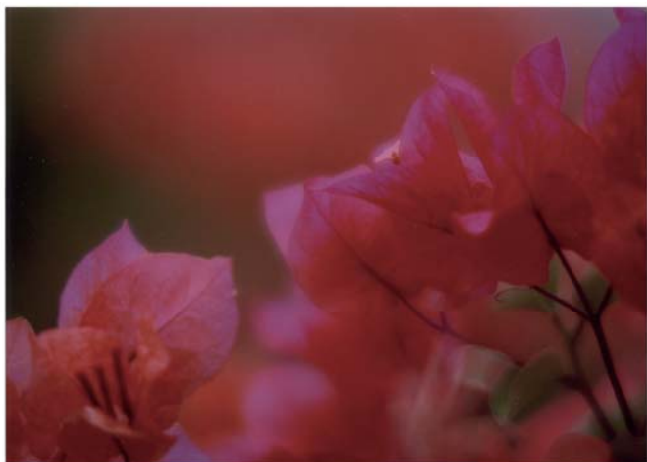
秋の輝き

真鍋 勉



パフィオペディラム

森本 晋



ブーゲンビリア 田村 啓彦



蔵王「お釜」 稲垣 壮太郎



これで どう? 松原 貞一



月見気分でーハナカミキリー
坂本 保己

文芸随筆諸事百般



「冬の薔薇」

高木病院 婦人科

片山

進

新しき職場の近くの公園に

コスモスとゆれ薔薇の香もかぐ

あの角を曲がればあるはず紅る薔薇

まわり道をする五月の朝は

吊されて命絶ふれば吊ししまま

見るが美し五月の薔薇は

八月の薔薇よをみなを抱きしめよ

子宮なるものあはれ失せしに

くれなるの色深まりし冬の薔薇

ひとさし指に柔らかかりき

晩年の小野小町も斯くありしや

薔薇枯れ果てししになほ色香あり



正月の頃

福生市 鹿野純 一

雪やみて拝島大師のお参りは

日の出を仰ぐ真青な空

雪どけの塊り屋根からすべり落ち

正月の夢さめさせる音

茂りたるいちよう並木の写真とり

額に飾ればいきいきとする

寒くなり枯木の道を急ぎゆく

ヨン様らしきマフラーをして

雪降りて犬は好まず犬小屋で

鼻少し出しすぐ引きこもる

華やかなおせち料理を前にして

孫達坐りお年玉待つ

正月は晴れた日続き風も無し

テロと災害忘れた頃に

16年度第2回地域医療機能連携推進委員会報告



H16年12月1日 於：医師会館 連携委員会委員長 坂本保己

16年度医療連携事業計画の最終の詰めを行いました。

前委員会で提案された病診間画像送受信システムについて制作担当（委託）から説明があり、その検討の結果、運転上まだ Upload する側の中核的病院の人的物的準備、Download する側の設備普及に課題は残るが、基本的には本システムは今後の連携展開に必要であるとしてその採用が出席全委員によって承認されました。

また、医療連携推進事業の一区切りとして、年度内3月頃に事業関係講演会、報告会を予定いたします。

システム概要

名 称：西多摩地域医療情報共有支援システム（仮称）。

サーバー：中核病院の画像サーバーから医師会中央サーバーへ。

診療機関のPCへ中央サーバーからの画像配信。

情 報：当面フィルム画像配信から始める。

○将来の展開としてシネ画像、超音波画像、内視鏡画像などもオンライン化整備がなされれば可能。

通信管理：地域内医療情報管理、閲覧は統一患者番号（PID）の登録が必要になる。

○個人情報、発行されるPIDを患者が提示して初めて入手されるので安全に保護される。

○将来、患者個人情報と患者医療情報の全域共有は電子カルテ化普及の可能性に懸かってくる。

総括として講演会と討論会

年度末の3月を目途に開催を検討する。

地区だより



青梅地区

青梅市医師会新年会

片平医院 片平潤一

青梅市医師会の新年会は1月12日、ゆずの里・勝仙閣で行われました。当日は青梅だるま市で、マイクロバスはう回していましたが、大変な寒波にもかかわらず、なかなかの人出でした。新年会は何回か呼び掛けましたが、いつもと変わらず30人しか集まりません。より多くの会員が出席するようにしていきたいものです。会では懸案の青梅市休日夜間診療体制について総合病院の星先生にお話を伺おうと思っていましたが、残念ながらご所用のためできませんでした。しかし会員全員和気あいあいと近況など語り合いました。



〔写真撮影：宮下 吉弘〕

広 報 部

青梅市立総合病院 外来診察分担表

平成17年1月4日現在

診 療 科	月	火	水	木	金
新 患 担 当	桜井	原	大玉	今井	大友
総 合 担 当	交代で	交代で	交代で	交代で	交代で
血 液 内 科	熊谷	今井	今井	北野	熊谷
内分泌代謝科	関口・名和	杉山	関口	関口	名和
腎 臓 内 科	栗山	木本	江渡	栗山	木本
神 経 内 科	高橋	石橋	日詰	高橋	石橋
呼 吸 器 科	大玉・遠藤・谷合	高野・鶴浦		大玉・立石	高野
消 化 器 科	野口・浜野	細井・亀山	石井	野口・浜野	細井・佐藤
循環器科	清水(茂)	大友・北森	副島	坂本・大野	西森・清水(雅)
リウマチ膠原病科	長坂(午後)	桜井(午後)	長坂(午後)	古賀	桜井(午後)
外科	藤田・浅井	正木・杉崎	青木・徳田	正木・杉崎	藤田・中村
胸部外科(心・呼)	大島(午後)		白井(午後)		
脳神経外科	高田	当番医	高田	森本	木野
整形外科	当番医	松岡・井上・堀江	松岡・大久保・佐谷	伊東・当番医	大久保・佐谷・井上
産婦人科 妊婦	小野	高嶺	依光あ	荒木	篠原
婦人予約	依光あ・荒木	陶守・依光毅	小野・篠原	依光毅・高嶺	陶守・小野/依光あ
婦人一般	依光毅・高嶺	依光あ・篠原	陶守/依光毅・高嶺/荒木	陶守・小野	依光あ/小野・荒木
皮膚科	馬場	馬場	馬場	馬場	田島
泌尿器科	友石	非常勤	安部	友石	非常勤
小児科	林・奥山・笹本	奥山・安藤・竹村	林・有賀・小山	奥山・安藤・笹本	林・有賀・小山
眼科	森・小川	森・小川	非常勤	森	森・小川
耳鼻咽喉科	当番医	石川・大野・牧野	当番医	大野・牧野	石川・大野・牧野
精神科 新患	山口	南光	山口	南光	三ツ汐
再来予約	三ツ汐・平山	山口	三ツ汐・南光	山口	南光
放射線科	佐藤(IVR)				太田(放治)
リハビリテーション科					
口腔外科	黒川	森	佐藤	佐野	高久

※ 内科系の網掛けは、予約診察です。

※ 複数の医師を／で区切っているのは、週ごとに交代での診察となります。

※ 休診、代診等で当日の担当医が変更となる場合がありますが、御了承ください。

公立福生病院 外来診療担当医表

平成17年1月より

診療科目	月		火		水		木		金	
	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
内科	1診	松原			岡田	神経内科:栗原 (2・4週予約制)	北島	消化器:清家	池井	
	2診	福本(併) 呼吸器:清水・中野 (交替)	佐藤	消化器:奥山	北村		松原		柴木	
	3診		柴木		井関		竹内		井関	膠原病:小関
神経科										神経科:原 (1・2・3・4週)
循環器科	井関(予約制)				井関(予約制)	萱場			井関(予約制)	ペースメーカークリニック:井関 予約制
小児科	河野	慢性疾患外来:松山 (毎週1時30分～4時)	田中	慢性疾患外来:清水 (毎週)	清水	予防接種(予約制):清水 (1時30分～2時) 内分泌代謝外来:樋口 2週(1時30分～3時)	五月女	腎・慢性疾患外来:田中 (毎週) 呼吸器外来 1週(1時30分～3時) 心臓外来(予約制) 第3週(3時～)	松山	乳児検診(予約制) 清水(1・3週) 田中(2・4週)
外科	諸角		宮崎 大西		五月女 三好		諸角(予約制) 仲丸	乳腺外来:五月女 (予約制)	古川	
整形外科	柴崎 山本	手術日	吉田	予約検査	柏木	手術日	山本	予約検査	宮崎(寧)	手術日
脳神経外科	小山		柏木	処方:注射	宮崎(寧)		柴崎	処方:注射	吉田	
皮膚科	稲岡	手術日	小山	脳ドック(予約制)	中川		小山	手術日	中川	
泌尿器科	菊地(1・3・5週) 松井(2・4週)	予約検査	稲岡	予約外来	長島(初診)	予約外来	稲岡		稲岡	予約外来
産婦人科	1診 (産科・初診)	菅原	清水	手術日	清水		菅原		清水	
	2診 (婦人科)	清水	酒井	手術日	菅原		清水		菅原	
眼科	福本	コングタ外来(2時～3時)	手術日	予約検査	福本	予約検査	福本	予約検査	福本	
耳鼻咽喉科		大野 (2時～4時)		上村 (2時～4時)	松田(明)			巨能 腹部		大野 (2時～4時)
ペインクリニック			野田 榑下 (予約制)				野田 島田 鈴木			
検診	大久保				大荷		大城		水川	

(作成 12月22日)

AM8:30～AM11:30まで

*受付時間 < PM1:00～(診療科によって異なりますのでご確認ください)

公立阿伎留病院 外来部門診療担当医表

平成17年1月1日

		月	火	水	木	金	土
内科	1	西成田	西成田	矢 嶋	入 山	西成田	休
	2	入 山	金 子	井 口	鬼 田	隈 部	
	3	宮 澤	笠 間	宮 澤	小 野	井 口	
	4	松 田			金 子		
内科午後診			佐野(HOT) △第1・3週	鬼 田			
専門外来			原(神経内科)	西成田 (リウマチ科)	蓬田(腎)	岡田(泌尿器) △午前のみ	診
		隈部 (ペースメーカー) △第2・4週					
		江本(循環器) △午後のみ	藤原(糖尿病)	藤原(糖尿病)			
血液透析		仲野谷	朝 岡	朝 岡	仲野谷	佐 藤	佐 藤
人間ドック					西成田		
小 児 科	岩 本 水 村	岩 本 水 村	岩 本 非常勤	岩 本 水 村	岩 本 水 村	岩 本 水 村	休
	専門外来 (午後)	乳児検診 (予約)	予防接種 (予約)	予防接種 (予約)			
外科	1	柴 田	矢 嶋	阿 部	柴 田	矢 嶋	
	2	永 田	阿 部	東盛(形成)	永 田	阿 部	
	3	矢嶋 (予約)	■ (南 郷)	永 田	矢嶋 (予約)	■ (南 郷)	
整形外科		若 林 小 野	若 林 石 神	小 野 石 神	若 林 石 神	若 林 小 野	休
脳神経外科		伊 藤	永 山	前 村	伊藤・◆河合	河 合	
皮 膚 科 (午後診)		堀 田 予約検査	堀 田 アレルギー-外来 (早期)	堀 田 真菌外来	堀 田 凍結療法	水 川	
泌尿器科		朝 岡	仲野谷	佐藤 (透析室長)	朝 岡	朝 岡	
産婦 人科	婦人科	森 田	吉 村	斉 藤	森 田	吉 村	診
	産科	吉 村	百 村	森 田	吉 村	森 田	
眼 科		原 田 扇 谷	原 田 扇 谷	原 田	折 原 原田・扇谷 (手術)	扇 谷	
		予約検査	手 術	予約検査	予約検査	予約検査	
耳鼻咽喉科		大 畑	大 畑 善 波	非常勤	大 畑	大 畑	
麻 酔 科				相 田			
歯科口腔外科		山 下 柳 下	山 下	山 下	山 下	山 下	

網掛け部分は、原則的に予約を要します。

- ◆ 脳外科木曜日の午後診療（専門外来「もの忘れ外来」を含む）は、河合が担当します。
- 外科火曜日の（南郷）は透視終了後、外科金曜日の（南郷）は病棟回診終了後、午前 11 時頃より診察予定です。

伝言板

第14回 青梅心電図勉強会のご案内

日 時：平成17年2月15日（火） 19時30分～

場 所：青梅市立総合病院 南棟 3 F 講堂

- 1 ミニレクチャー 青梅市立総合病院 循環器科 大野 正和 先生
「ホルター心電図の読み方」
- 2 心電図症例検討（興味ある症例、あるいはお困りの症例等ございましたら、心電図、患者プロフィール等をお持ちください。）

第3回 パネルディスカッション『呼吸器疾患』

日 時：平成17年2月19日（土） 14：00～17：00

場 所：公立阿伎留病院 一階講堂

1 パネルディスカッション

- ①「肺癌の診断（見落とさないために）」
佐野内科クリニック 佐野 茂男 先生
- ②「肺癌の内科的治療」
公立福生病院 内科 松原 弘明 先生
- ③「肺癌の外科治療」
青梅市立総合病院 胸部外科 白井 俊純 先生
- ④「肺癌の症状マネジメント」
日の出ヶ丘病院 ホスピス 沖 陽輔 先生

2 症例検討

進行係：青梅市立総合病院 呼吸器科 大玉 信一 先生
出 題：青梅市立総合病院 呼吸器科 鶴浦 康司 先生

第35回 青梅糖尿病内分泌研究会のご案内

日 時：平成17年2月23日（水） 20：00

場 所：青梅市立総合病院 新棟 3 階 セミナー室

三公立病院学術講演会

日 時：平成17年3月2日（水） 19：30

場 所：公立阿伎留病院 一階講堂

演者 1：公立阿伎留病院 副院長 西成田 進 先生

「パルボウイルス感染症と血液、膠原病疾患」

演者 2：公立福生病院 副院長 松山 健 先生

「日本型 Dent 病をごぞんじですか？」

第3回 市民参加型介護フォーラム

「考えよう！ 医療と介護の連携を」

日 時：平成17年3月11日（金） 19：00～21：00

場 所：あきる野ルピア（ルピアホール）

参加費：無料（午後6時受付開始）

対 象：一般市民の方々および医療福祉関係者

第3回 西多摩医師会臨床報告会

日 時：平成17年3月23日（水） 19：30～21：30

場 所：青梅市立総合病院 3階講堂

演 題

- ① 「当院の糖尿病患者診療実績と診療体制」
高村内科クリニック 高村 宏
- ② 「福生地区医師会におけるネットワークの整備の取り組み その3」
熊川病院 田坂 哲哉・花井麻里子、
福生クリニック 玉木 一弘
高村内科クリニック 高村 宏、渡辺医院 渡辺 良友
- ③ 「腹部腫瘍と画像診断」
井上医院 井上勇之助
- ④ 「腹部エコーの実際」
大河原森本医院 森本 晋
- ⑤ 「身体拘束ゼロをめざして（身体拘束廃止への取り組み）」
今井病院 武者廣隆 他10名
(敬称略)

第12回 西多摩心臓病研究会のご案内

日 時：平成17年4月20日（水） 19：30～21：00

場 所：公立阿伎留病院

特別講演

「大動脈瘤・大動脈解離に対するカテーテル治療」

埼玉医科大学 心臓血管外科 助教授 加藤 雅明 先生

症例検討 ＊お困りの症例等、お持ち下さい。



学術部 Information



《2月》

西多摩医師会学術講演会のご案内

- 1 日 時：平成17年2月7日（月）19:30～
場 所：公立阿伎留病院 一階講堂
演 題：『血管炎症候群の臨床－特に顕微鏡的多発血管炎について－』
杏林大学 学長 長澤俊彦先生
- 2 日 時：平成17年2月16日（水）19:30～
場 所：青梅市立総合病院 三階講堂
演 題：『睡眠時無呼吸症候群（SAS）と鼻アレルギーについて』
順天堂大学医学部耳鼻咽喉科 講師 榎本冬樹先生

《学術講演会要旨》

平成17年1月21日（金）

演題：「糖尿病患者における血压管理」

講師：東京医科大学八王子医療センター糖尿病・内分泌・代謝内科

助教授 大野 敦 先生

糖尿病患者を外来でフォローしていく際に、海外での様々な大規模スタディーの結果が発表されるまでは、血糖値の管理への意識が少なくとも7～8割は占めていた気がする。しかし特に UKPDS の発表以来、血压管理の重要性がクローズアップされ、日常臨床においても強く意識せざるを得ない状況となっており、個人的には外来での管理意識の割合が、血糖値5割、血压2～3割、血清脂質2～3割と変化している。

strong statin の登場により、血清脂質の管理においては目標値（TC < 200mg/dl, LDL-C < 120mg/dl, TG < 150mg/dl, HDL-C > 40mg/dl）の達成が必ずしも難しくなくなっている。一方血压管理においては、日本糖尿病学会が編集している「糖尿病治療ガイド」の最新版（2004－2005）で血压の目標値を 130/80mmHg 未満と拡張期血压を 5 mmHg 下げて、より厳格なコントロールを目指すことにしているが、その達成は必ずしも容易ではない。

その背景には、血清脂質の測定値に比べて外来で測定した血圧値は白衣現象などの変動因子が多く、2～3回外来血圧が管理目標値を超えているだけで降圧薬を開始・変更することに、医師が躊躇し患者にも納得してもらいにくいことがある。このような状況から家庭血圧測定を勧める機会が増えており、演者も血圧の管理目標値をコンスタントに超えてそろそろ降圧薬を開始することを考慮した患者には、まず血圧手帳を渡して起床後と就寝前の測定結果を記録してもらっている。そしてその測定値を外来血圧と比較しながら、降圧薬の必要性を説明している。

高血圧治療の分野には数多くの大規模スタディーの結果があるため、そこから得られたエビデンスの紹介を中心とした講演が多くなるテーマではある。しかし今回はその紹介は最小限にとどめて、日常臨床に直結した内容にしぼり、以下の項目を中心に話を進める予定である。

- (1) 多摩地域における糖尿病患者の血圧管理に関する実態調査
- (2) 大規模スタディーのエビデンスはどのように利用すべきか
- (3) 家庭血圧の上手な利用法ー早朝高血圧を見逃すな！
- (4) 新しい高血圧の治療ガイドライン（JSH2004）における糖尿病患者の管理基準

● 理事会報告

★ Information ●

12月移動理事会

平成16年12月21日(火)

昭和の森 車屋

〔出席者：真鍋・小机・横田・神尾・田坂・中野・野本・細谷〕

【1】報告事項

1. 都医地区医師会長協議会報告（真鍋会長）

(1) 都医からの伝達事項

- ① 会員区分変更に伴う異動手続について
研修医のための日医医師賠償責任保険の会員区分を新設。
- ② 新潟県中越地震災害救援義援金について
合計 2,500 万円を新潟県医師会へ贈った。
- ③ 国民医療を守る東京大会について
- ④ インフルエンザワクチン安定供給・確保対策に係る医療機関の選定について
前回理事会で報告済。
- ⑤ 平成 17 年度東京都主要健・検診事業（マンモグラフィ検診・介護予防健診）について
平成 18 年に老健法の改正があり、介護予防健診事業が新たに始まる。

- ⑥ 平成 16 年度東京都医師会主治医研修会開催について
平成 17 年 2 月 26 日（土）午後 2 時 於都医会館 4 階会議室。
- ⑦ 主治医意見書作成の対価について
- ⑧ フィブリノゲン製剤納入先医療機関の公表について
- ⑨ 東京都医師会ホームページリニューアルについて
11 月 1 日からリニューアルを開始し、完成は来年になる。
- ⑩ 混合診療解禁反対広告について

(2) 協議事項

なし。

(3) 地区医師会からの報告

- 1. 乳がん・子宮がん検診のあり方検討委員会報告書について（江戸川区医師会）
エコーとマンモグラフィの比較。
- 2. もの忘れ外来の開設について（大森医師会）
積極的に取り組んでいる。
- 3. 民間救急コールセンターについて－消防庁の対応－（町田市医師会）
- 4. 混合診療の関連について（日本医科大学医師会）

(4) その他

なし。

2. 各部報告（各担当理事）

学術部：1 月 19 日（水）、1 月 21 日（金）学術講演会（青梅市立総合病院）

3. 地区会よりの報告（各地区理事）

青 梅：1 月 12 日新年会（本号 17 頁参照）。

福 生：1 月 14 日新年会。

羽 村：12 月 21 日定例地区会 来年度以降の休日診療当番について。

あきる野：なし。

瑞 穂：なし。

日の出：12 月 3 日地区会 健康づくりの推進について検討。

4. その他

なし。

【2】報告承認事項**1. 入会会員及び管理者変更について —— 承認 ——**

入会 A会員：安田和人（医財 岩尾会青梅すえひろ苑 青梅）

B会員：栗原医院 1名

退会 岩尾会青梅すえひろ苑 1名 福生クリニック 1名

管理者変更（医財）岩尾会青梅すえひろ苑（新）安田和人（旧）岩尾芳郎

【3】協議事項**1. 都立福生高等学校学校医（全日制）及び産業医の推薦について**

道又正達先生ご辞退による（平成16年12月31日）後任の先生の推薦
福生地区で検討する。

2. その他

- 17年2月5日（土）西多摩地区医療懇話会 場所 羽村市「魚観荘」にて開催する。
（今回は医師会が担当）

- 17年3月30日（水）西多摩医師会平成16年度第二回定時総会
場所 「フォレストイン昭和館」にて開催する。
講演会を行うかどうかについては、次回理事会で検討する。

- 小児救急医療について
公立福生病院と公立阿伎留病院での実施についての検討を含め、近いうちに第2回座談会を開催する。

- 西多摩医師会ホームページのリニューアルについて
次回理事会に資料を提出する。

会 員 通 知

- 会報
- 宿日直表（青梅・福生・阿伎留）
- 1月レセプト提出日と年末年始休館のお知らせ
- 学術講演会（1/19・1/21）
- ターミナルケア研修会開催のご案内
- 産業医研修会（2/19 帝京大学）
- 〃 （2/19 練馬区医師会）
- 〃 （3/12・19 東京都医師会）
- 三師会主催市民健康講座ポスター

表紙のことば



「蘭にとまるヤマトシジミ」

シジミチョウは羽の開長3センチ前後の小柄な蝶で3月頃から舞います。羽の表は種により赤、青、緑と色々ですが裏は写真のように白地に美しい斑点模様です。ピンクの蘭によく映えていました。50mmマクロレンズで自然光接写、f 5.6。

(青梅市健康センター 坂本 保己)

お知らせ

事務局より お 知 ら せ

平成17年3月(2月診療分)の

保 険 請 求 書 類 提 出

3月8日(火)

— 正午迄です —

法 律 相 談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談ください。

- | | |
|----------------------------|--|
| ◎相 談 日 | 2月は9日(水)
3月は9日(水)の予定です。 |
| ◎場 所 | 西多摩医師会館和室 |
| ◎内 容 | 医療・土地・金銭貸借・親族・相続問題等民事・刑事に関するどのようなものでも結構です。 |
| ◎相 談 料 | 無料(但し相談を超える場合は別途) |
| ◎申込方法 | 事前に医師会事務局迄お申込み願います。 |
| (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。 | |

あ と が き



手帳と携帯電話

日程、住所録、電話帳、メモ帳、これらをコンパクトにした小冊子が手帳である。大きさや用途に応じて使いやすい能率手帳など開発されている。

仕事に追われていた頃は、手帳は必需品として常時携帯しなければならなかった。日常生活のリズムが変わると、手帳に記入する事項も激減して、白紙のページが手帳を埋め始めた。それに替わり、スケジュール機能を兼ね備えた携帯電話は、連絡の手段だけでなくマルチ機能の秘書として働いている。携帯電話の普及率は、今や日本の人口の約8割に当たると言われている。待ち合わせも携帯電話があれば、新宿西口のアルタの前、7時と伝えるだけで細かい指定は不要。ルーズな私にとって有難い。

一方、ペーパーレスに馴染まない年代にとって、手帳も捨てがたい。数ヵ月の日程を瞬時に一覽でき、節気や季節感を味わうことが出来る。あー、2月は豆まき“福は内、鬼は外。”今年も健康に留意して幸運をつかもう！

(馬場 眞澄)

社団法人 西多摩医師会

平成17年 2月 1日発行

会長 真鍋 勉 〒198-0044 東京都青梅市西分町3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 野本 正嗣

瀬戸岡俊一郎 石井 好明 桂川 敬太 込田 茂夫 坂井 成彦
鈴木 道彦 馬場 眞澄 葉山 隆 細谷純一郎

印刷所 マスダ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

健康が 21世紀の扉を開く



命の輝きを見つめ続けて……

(株)武蔵臨床検査所

食品と院内の環境を科学する

F・S サービス

〒358-0013 埼玉県入間市上藤沢309-8
TEL 042-964-2621 FAX 042-964-6659

レセコンから今、多機能電子カルテ時代へ。



「Medical Station」は診療・検査から会計まで、医療現場をまるごとサポート。医療スタッフの煩雑な作業を軽減するだけでなく、インフォームドコンセントや待ち時間の短縮など質の高いサービスを実現。

検査結果は暗号化したインターネット・メールで、依頼日の翌朝にはシステムに自動的に取り込まれます。検査センターならではの充実した検査機能のほかに、レセコン機能による診療費計算の自動化、さらには経営分析にも手軽に活用でき、医療の現場をトータルにサポートします。



画期的な新技術により「非改ざん証明」を初めて実現しました

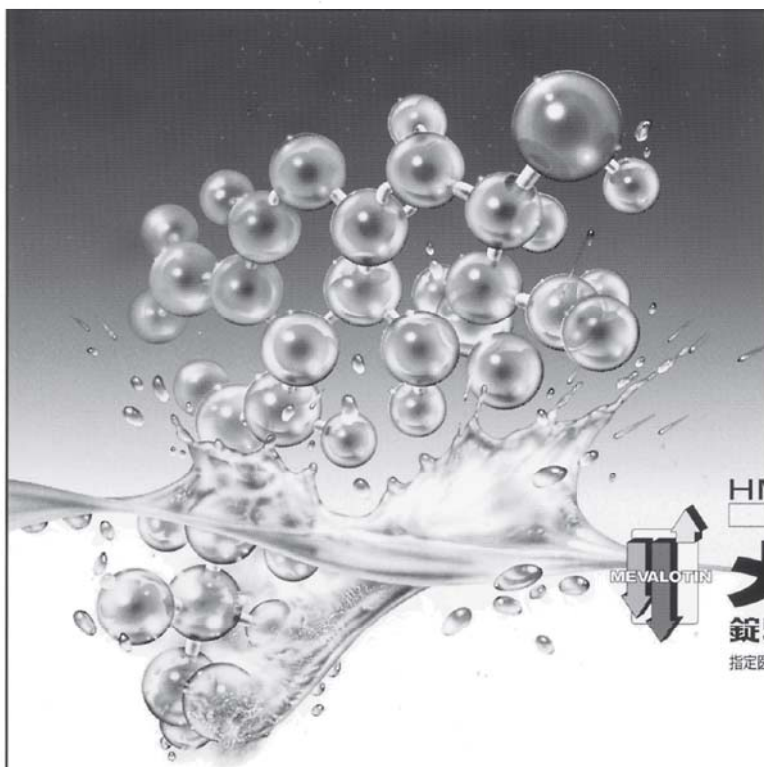
㈱NTTデータとの提携により、厚生省の医療情報電子化3基準のうち最も実現が難しかった「真正性の確保」を日本で初めて技術的に可能にしました。過去のカルテ情報に不正な改変のないことをNTTデータのSecureSealTMセンタ(電子文書証明センタ)が厳密に第三者的に証明します。

ハイパフォーマンス電子カルテシステム

Medical Station

お問い合わせ・資料請求先
株式会社ビー・エム・エル
医療情報システム部
〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
TEL. 03-3350-0392
e-mail. ms-sales@bml.co.jp
http://www.bml.co.jp/

開発元
株式会社メリッツ
戦略システム開発部
〒350-1101 川越市市場1361-1
TEL. 049-233-7074



●効能・効果、用法・用量、禁忌・原則禁忌を含む使用上の注意等は添付文書をご覧ください。

HMG-CoA還元酵素阻害剤
高脂血症治療剤



メバロチン[®]

錠5・錠10 / 細粒0.5%・細粒1%

指定医薬品 ●一般名/プラバスタチンナトリウム [薬価基準収載]

製造販売元(資料請求先)
三共株式会社
SANKYO 〒103-8426 東京都中央区日本橋本町3-5-1